

契 約 理 由 書

1. 業務件名 令和3年度川内川水系治水施設概略検討業務
2. 履行場所 川内川河川事務所管内
3. 契約の相手方 住 所: 福岡市中央区荒戸二丁目1番5号
会社名 八千代エンジニアリング株式会社 九州支店
電 話: 092-751-1431
4. 契約適用法令 会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、川内川水系において、基本方針、変更を見据えた整備計画、及び気候変動による流量増に対応するために、新たな洪水調節施設の可能性について検討し、現実的な手法・施設の概略検討を行い、今後の高水処理の基礎資料とするものである。

2) 業務の内容

・資料収集整理 1式 ・貯水池内地すべり地形等予察図の作成 1式 ・鶴田ダム嵩上げ検討 1式 ・洪水調節施設の組合せ検討 1式 ・概要説明資料作成 1式 ・総合検討 1式 ・報告書作成 1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を25者が入手(ダウンロード)し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち2者を技術提案書の提出者として選定し、2者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に「配置予定技術者の成績及び表彰」は最も優れた評価であり、かつ「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「実施手順」、「その他」における実施フローの工夫や有益な代替案、重要事項として新たな着眼点からの整備方針検討手法が記載されていること、及び特定テーマの「関係機関の現状を踏まえた整備方針検討手法について」に対する技術提案について提案内容を裏付ける類似実績について、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

川内川河川事務所 調査課長